

令和6年度第3回 秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画推進委員会 議事録

日 時：令和7年3月19日（水） 午前10時30分～11時20分

場 所：秋田市役所5階 正庁

委員の定数：13人

出席 委員：10人

欠席 委員：3人

事務局：4人

議 事：

1 開会

2 議事

(1) 令和6年度の事業実績の状況について、資料1をもとに事務局より説明を行った。

(委員長)

議事(1)について、ご意見や質問等はないか。無いようなので、議事2に進む。事務局より説明をお願いする。

(2) 令和7年度の事業予定について、資料2をもとに、事務局から説明を行った。また、エイジフレンドリーパートナー表彰選考委員について、公募委員の中から令和7年度は、委員に就任いただくことを提案した。

(委員長)

議事(2)について、ご意見や質問等はないか。

(委員)

エイジフレンドリーシティワークショップについて、市民の参加が少ないと報告があった件について、開催は市役所の正庁であったということだが、市民が参加しやすい場所をもっと検討してはどうか。例えば、駅に近いアルヴェなど歩いて行きやすい場所で開催すれば、その後に買い物をして帰ることができるなど、もう少しフラットに行ける場所を考えたらどうか。

また、インターネット等を利用した広報について、テレビやラジオなどを使っているということだが、市の公式ラインから様々な情報が送られてきているので、こちらもテレビやラジオを見ない層にも伝わるように発信したらどうか。

(事務局)

まず、会場については、事務局でも様々な検討したが、会場使用料がかからず、駐車スペースのある場所などを考えて、正庁で行うことを決めたが、今後も都度状況を考えて検討していきたい。

次に、広報については、報告書に記載していなかったがLINEを使った発信も行っており、今後もSNSを使って周知していく。

- (委員) 職員研修について、新たに動画を作成することであったが、これまで職員向けの研修などはなかったのか。
- (事務局) 新規採用職員の入所時の研修では、エイジフレンドリーシティについての研修があるが、その後は特に無かった。今回の動画は、基本に立ち返って全職員が受講できるものとし作成するものである。
- (委員) 職員向けに研修というか、改めて周知するものということで承知した。
- (委員) 資料見ながら、事務局の説明を聞いていたが、本日配付された資料を見ながらでは、理解が追いつかない部分もあり、できれば、開催通知と一緒に、資料の送付もお願いしたい。
- また、7年度の事業予定については、昨年度の事業と比較できるように、資料に加えてほしい。例えば今年度で終わる事業や、逆に次年度新たに行う事業などを把握しやすいように表記すれば、わかりやすいと思うので、なんとかお願いしたい。
- 最後に、暮らしに役立つサービスについては、非常にありがたいものであると感じているが、1万5千部の配布というのは、どういうところに配っているのか。
- (事務局) 3つのお話しの内、最初の2つは、資料についてであったが、まずは、資料が机上配布になったことは申し訳なく思う。今後は、開催案内送付時に、一緒に送れるよう努める。また、次年度の事業等については、例えばスタンプラリーが今年度で終了することなど、事前に決まっていたものではなかったので、報告が遅くなり申し訳なかつたが、今後は資料にそういった点も反映していきたい。
- 最後に暮らしに役立つサービスの配布については、市民が多く利用するような市民課等の窓口や、長寿福祉課の窓口、また、各市民サービスセンターやコミュニティセンター、各図書館にも設置している。さらに、市内の大きい病院や、18箇所ある地域包括支援センター、または民生委員にも必要なかたに渡してほしい旨を伝えながら、配布をお願いしている。隅々まで行き渡るのは難しいが、効果的に必要な人に届くように、今後も考えて設置、配布していきたい。
- (委員) 広報番組や、研究テーマに取り上げられたなどの報告があったが、市民のかたなどが、後からそれらを見たいなと思ったときに、ホームページで公表するとか、講演会なども見逃し配信のようなものを行えば、さらに周知が進むのではないか。

(事務局)	広報番組は、インターネット上で後から見ることができ、また、ケーブルテレビに出演した映像等は、CNAのHP等で見れるかと思う。その他のものについては、検討していきたい。
(委員)	<p>スタンプラリーが今年度で終わるということだが、1ヶ月で応募が1千人を超えるというのは、相当に効果があったと感じる。</p> <p>ただ、それに代わるものとして、コラボ講座を実施するということだが、こうした講座は単発で終わってしまうくらいがあるので、ある程度期間を設けたもので、より広くPRできるものがあればと思う。</p> <p>また、小学生向けの副読本について、配布後の反響などはあったか。</p>
(事務局)	<p>副読本については、副読本と一緒に事業のチラシ、今年度であれば、スタンプラリー やエイジフレンドリーシティ通信、またエイジフレンドリーシティについての簡単なクイズも一緒に配布して、クイズについては、解答を送ってくれた小学生にオリジナルの反射板をプレゼントするなどを行っており、たくさんが解答があったわけではないが、数十ほどは連絡をもらった。</p> <p>また、イベントなどでブースを出してシールアンケートなどを行うと、保護者はピンと来なくても、子どものほうが「知っている」と言うこともあり、そのあたりは副読本の効果だと思う。</p>
(委員長)	ほかに何かあるか。
	では、来年度の第2回推進委員会は、パートナー事業者表彰選考があると事務局から説明があったが、事務局からの提案があったとおり、選考委員のうち、エイジフレンドリーシティ行動計画推進委員の2名の公募委員の中から、7年度は委員にお願いしたいと思うが、承認してもらえるか。
(委員)	異議なし
(委員長)	異議無しということで、では委員よろしくお願ひいたします。
(3) その他	
(委員長)	次に、議事の(3)「その他」について事務局からはあるか。
(事務局)	来年度の第1回目の委員会は、7月を予定している。令和7年度は市民意識調査を実施予定なので、現在取り組んでいる3次計画の

ことはもちろん、これまでの長い期間を踏まえてご協議頂ければと思う。

(委員長) ほかに無いようなので以上で議事を終了する。